

報 東 白 川

行 啓
 郡 東 白 川
 村 加 茂 公 民 館
 刷 印 所
 今 井 印 刷 所

ことしの 成績 收購

初、晩秋蚕は ますます 良好!

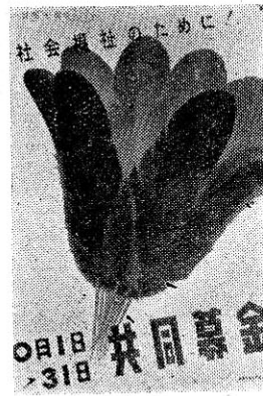
蚕繭にたたつた凍霜害

全桑繭化の相言葉のもとし、遂に入三三貫と云う努力を迎えた本村の産繭目標は、当初八、三三〇貫確保を以て進められたのであるが、四月下旬の凍霜害によつて村内五一町八反に及ぶ全桑園に大被害を受け春繭生産計画が一瞬にしてくずれたかの感を抱かせた。その後、全村挙げての霜害対策が講ぜられ樹勢の回復発芽の促進等の手だてに最善の努力が注がれた結果、当初不可能と思われた春蚕、当初一、〇〇〇瓦を可能と掃立一、〇〇〇瓦を可能と

上廻る好成绩を収めることができた。晩春の一朝にてもたらされたこの災害はかえつて生産意欲をたかめた直接的原因として、本村蚕業振興に大きな役割を果したのであり、わざわざいふに及ばない。今度の凍霜害は、今年も十月一日から一ヶ月間全国一斉に展開されて、赤い羽根の共同募金

赤い羽根 共同募金始る

目標 五二七五〇円



赤い羽根の共同募金
 〇日 〇日
 3日 3日
 共同募金

り五百円
 程減とな
 つている
 本年度
 も目標額
 を三割の
 資産等級
 割と三割
 の平均割
 として各
 世帯の目
 標額を御
 協力をお願いしている。
 ことには使われるか。大体次の様なことに予定されている。

- (1) 養老院、未亡人、引揚者 二、五、七%
- (2) 身体障害者等の生活保護事業に 二、二%
- (3) 病院、診療所、ライ療養 八、六%
- (4) 災害時の緊急援護費に 七、五%
- (5) 前科者の更正保護事業に 二、四%
- (6) 災害時の緊急援護費に 七、五%
- (7) その他 一、五、八%

村 議 会

東白川村議会第 三回定例会は、去る九月二十七日夜、場内において開催された。まづ午前十時五分開会され、期を一日と定め日程に入り、教育費七万三千円を含む本年度追加更正予算、諸条例規則の改廃、教育委員の選任など十一件が上程され、村長から説明のあつたのち、質疑討論と慎重な審議が進められ、それら原案通り可決、午後三時十分閉会した。

追加 予算 二二五万六千円

九月月定例会で可決

昭和三十一年度收購量

組合別	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕	合 計
神 土	七五	一三三	九四	三九九
越 原	三三	一四七	一七七	三五六
五 加	八	六三	一七	八八
計	八三	三四六	二四三	六七二

新教育委員会の発足

委員長に田口(耕)氏就任

この十月一日からは、教育行政制度の改正に伴う新しい教育委員会が、全国一斉に発足したものであるが、本村に於いても、去る九月二十七日村議会の同意を得たので、次の五氏が新たに教育委員に任命された。

委員 田口安幸(二)
 委員 安江正造(三)
 委員 桂川完二(四)
 委員 古田 香(四)
 尚教育長には、明年三月までは、安江現助氏が兼務することとなつた。

- ① 地方交付税交付金 四六〇、〇〇〇円
- ② 間伐素材売払代 一、五〇〇、〇〇〇円
- ③ 県費補助金(凍霜害対策費) 二九六、四〇〇円
- ④ 凍霜害対策費(主として養蚕関係) 二九六、四〇〇円
- ⑤ 防疫組合負担金 二五一、〇〇〇円
- ⑥ 住宅施設改修費 三八〇、〇〇〇円
- ⑦ 間伐素材生産費 二五〇、〇〇〇円
- ⑧ 国保会計繰出金 一〇〇、〇〇〇円
- ⑨ その他 三一九、〇〇〇円
- 合 計 二、二五六、四〇〇円

6 けいじ板

手続きは必ずやろう

××臨時興行と入場税××

最近、いって現金入場をさせたり正規でない方法によつて興行規でない方法によつて興行規をしていいたため、入場税法違反として処罰される事例が相ついで発生しております。

臨時興行の主催者の多くは、青年団、婦人会、PTA、映画同好会等であり、申請、承認ならびに納付等を手続をしなければならぬことになっております。最近往々にして、開催場税は御承知のとおり間接申告の手続をしないで、入場税の対象となる興行をしたため、主催者は、これを取りたいで、主催者が税金を負担し、主催者は、これをとりたため、主催者が勝手に作つたものを使用したり、入場券の半片を入場者に渡さなかつたり、入場券を使わな

昇殿参拜のお知らせ

靖国神社

加茂郡遺族連合会にて、今年五カ年計画の遺族団体靖国神社昇殿参拜は今年も次の行程で実施されることとなつた。

11月12日	一行
13日	出発
14日	靖国神社参拜
15日	日光東照宮参拜
16日	善光寺参詣
16日	倉温泉
16日	帰郷

期日は変更されることもある。

三、九八〇円

今年五カ年計画による最終の年であつて今後の実施は多分不可能と思われるため本村遺族会では八十名を目録に参拜者を募集し

ありますが、正規でない開催については、いずれも無申告犯、私製入場券使用犯入場券不交付犯等を免れなないのでありますから、今後臨時興行を主催される場合は是非、正規の手続をとつて戴きたいと存じます。

民生委員 改選迫る

現在の民生委員は本年十一月末日でその任期が満了し十二月一日には全国一斉に改選が行なわれることになつてゐる。

最近世帯更正運動の展開児童の健全な育成運動等民生委員の活動は、社会福祉活動の中核をなしてきたのみならず明年からは全国一千万にのぼるボーダーライン階層に対して民生委員を通じて医療費を貸付ける制度も生れようとしてゐる。

このように民生委員に対する期待は極めて大きく、従つて本当によい人が民生委員に選ばれるかどうかは社会の重大な関心が払われるようになってきたわけである。

一筆啓上

「納税は国民の義務である。」「こんなことは今さら云うまでもなく、吾々一人一人が、万々承知のことである。が、なかなか出さずいらいままに、つい滞納してしまふのが、いつわらぬ人情である。」

しかしながら、一家の経済は、夫や父や息子が、汗水流して働きためた尊い労働の果実を、如何に生かして上手に切り廻すかという主婦の手腕によつて、より豊かになり、そこから明るく健康な家庭が生み出される。

「納税は国民の義務である。」「こんなことは今さら云うまでもなく、吾々一人一人が、万々承知のことである。が、なかなか出さずいらいままに、つい滞納してしまふのが、いつわらぬ人情である。」



投書は役場内「こだま保」

△問 事業のために使用していた機械を、このほど売却しましたが、この所得は事業所得となりますか。私には青色申告者ですが…… (事業家)

「一村一家」それは理想であり、目標とする自治体ではあるが、云うに易く、行ふに至難なるの代表だ

「一村一家」の目標を成し遂げるための努力をしなければならぬ。それが吾々村民の一人一人の背負つてゐる責務である。

「税金はとるもの、とられるもの」と云う思想は、吾々が、社会生活における重大な責任をじつくりと考へたとき、おのずから反省せざるを得ない。

「税金はとるもの、とられるもの」と云う思想は、吾々が、社会生活における重大な責任をじつくりと考へたとき、おのずから反省せざるを得ない。

△問 国民健康保険に加入してありますが、他町村の医者にかゝる場合の必要なお金について説明して下さい (一患者)

△問 国民健康保険の発行している「受診証」をもつていけば半額で診療の受けられる医者は次の通りです。

「一村一家」それは理想であり、目標とする自治体ではあるが、云うに易く、行ふに至難なるの代表だ

「一村一家」の目標を成し遂げるための努力をしなければならぬ。それが吾々村民の一人一人の背負つてゐる責務である。

「税金はとるもの、とられるもの」と云う思想は、吾々が、社会生活における重大な責任をじつくりと考へたとき、おのずから反省せざるを得ない。

△問 国民健康保険の発行している「受診証」をもつていけば半額で診療の受けられる医者は次の通りです。

△問 国民健康保険の発行している「受診証」をもつていけば半額で診療の受けられる医者は次の通りです。

税のカレンダー

国税

今月特に納期の定つてゐるものはありませんが、一部に古い税金が滞納のまま残つてゐる人、または、昭和三十一年分の予定納税第一期分の未納になつてゐる方があります。なるべく早く完納致しますよう。

県税

自動車税第二期分の納期は今月末日になつてゐます。尚滞納ある方は、県税事務所との積極的な話合で早期解決を図つて下さい。

村税

今月は、村県民税第三期分の納期になつておりますので、いつもの通り御協力をお願いいたします。

今月は、村県民税第三期分の納期になつておりますので、いつもの通り御協力をお願いいたします。

結果 診 検 乳 児

全般的には年々向上

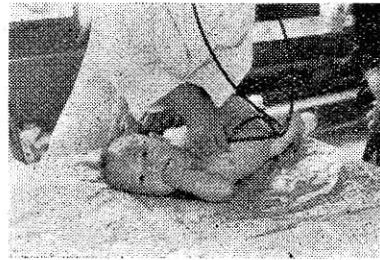
本年度第一回の乳児検診は、去る十月三日、五日の二日東白川村公民館、青年館

本年度第一回の乳児検診は、去る十月三日、五日の二日東白川村公民館、青年館

本年度第一回の乳児検診は、去る十月三日、五日の二日東白川村公民館、青年館

(五加小学校前日)に於いて、加茂保健所加藤予防課長始め保健所係員の応援を得て実施された。

この日の該当乳児は、九八名(昨年七月より本年八月までの間に出生のもの)で、前日はツベルクリン注射を行い、二日目



戸籍のおり

(7)

後見とは、親権者のない未成年者又は親権者に未成年者の財産管理権がない場合若しくは禁治産者の宣告があつたとき開始し、その未成年者又は禁治産者のため、身分及び財産関係について世話をするために設けられた私法的職務である。

この後見の職務を行う人は後見人というのである。後見は右の如く未成年者に対して開始すると、その保護を受けることとなつて

予防のための指導がなされるようにしたものである。今回の検査の結果によると前回に比べて、赤らやんの発育程度に上下の差がひどいようにも見受けられたのであるが、全般的には、年々向上していることがわかり、お母さん方の育児知識の進んできた結果をうかがうことができた。

表彰

五加季節保育園

本村では農繁期中に於いて放置され易い幼児を集めて適當な保護を加えて身心ともに健やかに育成しようとする婦人会が主体となつて村内に三カ所の農繁期季節保育園

連続優勝

神土分団

東白川青年団第十一回弁論大会は、去る九月二十三日午前十時より五加公民館に於いて開催された。この日各分団より選出された三〇名の弁士によりつて、村長杯優勝旗等を受けた、各分団対抗による舌戦が展開されたのであるが、その結果、神土分団が総合得点一位となり、三年間連続と云ふ輝かしい優勝を遂げた。

村の図書室

ひばり号の巡廻図書

二、三年前ま すぐに関係書類を送つて呉で皆さんになじれます。一回の登録で一年間有効、費用は一切無用です。

まれていた原立図書館のひばり号による図書巡廻貸出は、経費等の都合で山間部の巡廻を中止していたが今度再び巡廻することになりましたのでせいい御利用下さい。但し今度からの貸出し方法は従前と変わつて読書グループを対象にしていますから、ひばり号の図書を読みたい方は友人、近所隣りの人達をさそい合つて、グループを作り責任者をきめて、県立図書館へ「はがき」で申し込めば、

岐阜市公園内
岐阜県立図書館 宛

★近清図書目録★

- 書名 著者名
- 生活むかしむかし 大場警雄
- 科学むかしむかし 野菜の病虫害 堀正幹
- 接木挿木繁殖図説 藤井利重

絶好の秋日和運動会終る

村内小中学校の秋季運動会が去る十月三日越原、五加の両小学校、四日神土小学校、七日東白川中学校と相次いで開催された。三日は朝のうち雨が残り心配されたが天気は次第に回復し、又四日七日はともに秋晴れの上天気で、この日各校共早朝より大勢の父兄参観者が押しかけ、区民を交えての楽しい大運動会の一日を過した。



青年学級の研究発表会

昨年末、文部省より農山村青年学級としての研究指定を受けた本村青年学級では、その後関係方面より注目の中にあつて、真に農山村青年学級の自主的運営と自ら生活技術の向上に如何にすべきかと云ふ大きな課題に取組んで、いろいろ研究が続けられていたが、懇々、十一月下旬にその研究発表会を行うこととなつた。当日は県内各方面より研究会を迎えての研究発表であり、その成果が期待される。

- これ以防げる作物害虫 高橋雄一
- 随筆春秋 木村壯八
- 新しい村づくり 和田伝
- 相撲求道録 時津風定次
- 真紅の街かど 寺崎 浩
- らくがき近江絹糸労組編 熊谷元一
- 村の婦人生活 熊谷元一
- 弾道下のくらし 毎日新聞社
- 天上大風(上) 源氏鶏太
- 沖繩の民 石野啓一郎
- 非占領区 杉 啓之
- 村の健康革命 岡安常武
- 新剣豪伝 中山義秀
- 続新剣豪伝
- 特殊部隊七三 秋山 浩
- やどかりの詩 有馬頼義
- 第十二弾人酔筆 川上三太郎他
- 女まんだら 武野藤介

農事教室

有畜営農は

農家の経済にどう響くか(完)

先月までに計算した家畜の飼い方に依つて苦しに依る収入は一一万円になり...

得る物である。それを何故高い金額を出して購入せねばならないかである...

恒例の農業展示会を十一月二十三日勤労感謝の日を...

予告 今年の農業展示会には、日頃の農業技術と努力の結晶を、一堂に集め優秀...

赤字だからと考える昔乍らの行くのである。どうしても...

和牛登録検査成績

昭和三十一年度秋期の登録検査は去る九月十七日役場前に於て...

昭和31年度秋期登録検査

Table with columns: 名号, 生年月日, 産地, 飼育者, 資格, 点數. Lists registration details for various breeds and locations.

お母さんの背で冷たそうに聴診器が、ほの白い輪を作り、消えては又作りながら...

私の作文 お粥(かゆ) 秋の陽ざしを縁端一ぱいに広げてから、茶ぶ台をもち出した...



終り

今年の養蚕を顧みて

蚕業技術員 渡辺 初昭

本年の養蚕収入は、農家の現金収入の大半を示め、これが振興発展を期すことは農業経済を安定に導く唯一の早道である。かゝる見地から昨年以來東白川村蚕業振興五ヶ年計画を樹て、これが達成のために一層の奮斗努力を傾けている次第であつて、計画第一年度は見事その目標を突破し、幸先の良いスタートを切り、その喜びと共に引続き第二年度の計画達成に向つて、冬期桑園肥培管理の奮励を始め、早春の桑園清潔週間に消毒週間、肥料の増施週間に相次いでの諸週間を通じ桑樹に慈愛の手を施し、来るべき蚕期の増産体勢の整備に努力した。ところが四月二十九日、三十日と連続するあの悲惨な凍霜被害に依り今までの辛苦も水泡に化したかの如く見受けられ計り知れない自然の恐威にたゞぼう然となつた。この危路に立つて、村当局を中心として、農協、協議会は、この悪条件に如何に対処し、克服するかを春蚕飼育を中心に協議の結果果春蚕飼育を延期し、蚕品縮を交換して飼育経過の短縮を図り、速効性肥料の早期施用と、病虫害の共同防除に依る桑樹の回復と病害

場にも努め養蚕青年部が中心となつて、硬化病の絶無を期して全養蚕農家の蚕室蚕具の消毒、稚蚕飼育場への協力、蚕業婦人部は上簇改良など一致協力最後の増産に拍車をかけた。この増産運動がやがて村の隅から隅まで浸透し、順調に桑は蚕の体となり遂に東白川の桑園に残桑一枚もなしと云う前代未聞の記録が生れ、

そして、各養蚕農家に対してはこれが協力を呼びかけると共に被害樹の軽率伐採をいませしめ、春蚕飼育を万全を努めつつも、一方各地の全面的春蚕中止を耳にしながら、五月三十日一〇〇〇瓦を掃立を断行し遂に八二三貫を收購することができ、農家に一四八万円と貴重な収入を得る結果となつた。

引き続き、初秋蚕期には桑の被害を挽回し、農家経済並びに養蚕経営の早期平常化を目標に、個人別増産計画を樹て、個人別増産計画のため各養蚕農家が協力、お盆休みも返上して、連日酷暑の中を汗涙の努力の結果当初計画の三、七〇〇貫には及ばなかつたが、大過なく蚕期が戦後最高の三、四〇〇余貫の上蔭を確保することが出来た。

かくして、今年最後の晩秋蚕を迎え、此の増産対策を村当局を中心に農協、養蚕組合に於いて協議し、その基本を全桑繭化におき、養蚕者の飼育熱と意欲の高

又葉質に異論はあつたが、農協村当局の絶大なる協力に依り、県外よりの桑の購入も順調に進み六、七〇〇メの桑葉を導入し完全飼育につとめることにより、昨年同期の收購量に對し五四〇メを上廻る二、四八三メの收購成績を挙げることが出来、ここに昭和三十一年度の蚕繭の幕をとり、

草地農業への前進

(1)

●一石二鳥のはなし●

稲を作りその裏作として麦の先祖代々変る事なきこの作業の連続が水田の総てであつた。否現在に於ても依然として繰返され、水田とは稲と麦以外には何も作れないと云う様な錯覚にさえ、とられていた人も或は無きにしもあらず、と思われる。然し稲、麦を作る事を決して然しとは云われないが、これ等作物の生育の源である土壌をもう少し大事にして戴く事を力説したい。大事にと云うと語弊があるかも知れぬが、所謂土を研究する事である。土が物を言えるなら彼等は人間の身勝手な遣り方につき大いに抗議を申込む所だろが、然し土は物が言えなから不作現象となつて人間に訴えて来る。この無言の抗議を解説して見よう。

「俺も既に老令となり、到底人間の要求する通りにはいかぬ。人間は俺の年も表えも考えず、只金肥と云う食糧さえ与えて居れば俺等は満足して活躍すると思つているが、人間にして見ても、毎日々々同じ物を食いつつて見れば、如何なる状態になるか。俺達だつて人間と變りない。年々歳々金肥、稲と麦の繰返しで土は一種の栄養失調と飽き症を併発して居ます。私達土を使う者はこの土の要求をよく理解して肥料設計とか同一作物栽培を避ける等、土の能力を最高度に發揮させることが、新しい時代の百姓であると思

馬鈴薯の新品種！

その名は「ケネベック」

馬鈴薯導入一号(系統名ケネベック)は、数年前米国より酪農地北海道に導入され、家畜飼料として「男爵」以上に栽培されて来た長野、本県飛騨地方に於いて二三年前より栽培せら

れ大好評を呼んでいるが、数年后には男爵以上に面積が増加し、畜産農家にはこの上もない品種となろう。現在までは食用として利用度が高く栽培面積も少ないが、今後は食用より飼料用として利用される向きが多し、本村に於いても飼料としての利用度を増すために各家畜の濃厚飼料として、購入飼料の切下げを行い、生産費を出来る限り安くすることが必要となつてきた。

今春初めてハツ岳農場飛騨分場より導入し、教場飛騨に試作ねがつたところ、貴当り種薯にて一五貫一六貫の収量があり、評判よくて来春の増反を希望します。

一、特性(別表参照)
男爵に比べて、収量大で疫病に強いことが特長で、男爵が疫病に倒れ、收穫期に入つた頃は青々と、肥太期に入つた頃で疫病が全々発生しないといつても過言でない。

二、栽培法
栽培法としては男爵と大差なく、特に異なる点として、極晩生で男爵より一ヶ月以上も收穫期がおそいことである。今年度試作され

た農家のうちでも收穫期が早かつたため、収量が完全とならなかつた例もある。大根、白菜の前作として收穫すればよい。

睡眠間は二・五尺〜三尺以上とし、男爵より肥料も一割増肥すれば反当一千貫以上の収量は確実である。薯は芽数少なく、大薯の特性を持ち、中には百匁〜百五十匁位のが付く。種薯は芽数少いため、切断の場合は一〇匁以上とする。細かく切断することは減収を招くから注意すること。

三、種薯
種薯用として試作願ひ、農協で販売致しますが、男爵と同時に注文書を回覧しますので希望者は、早く申込んで下さい。

馬鈴薯の特性比較

別表	品種名	熟期	草丈	花色	肉色	食味	疫病	バラス	貯蔵力	収量(反当)
	男爵	7月上旬	50	淡紫	白	良	弱	中	中	400~600
	農林一号	7月中旬	50~70	白	黄白	強	強	弱	中	500~600
	紅丸	8月上旬	90~100	紫	白	強	強	中	強	700~1200
	ケネベック	8月上旬	90~100	紫	白	強	強	中	強	700~1200

(以下次号)

道路に想う

村長 河田勸市

一ヶ年の汗の結晶が黄金の宝となり、深まります秋の今日此の頃、村民の皆様には益々御健勝で御多忙の事と存じます。

さて過ぐる五日より八日までを道路愛護期間と定め、組長さんを通じ村内各道路の整備についての一日勤務奉仕をお願い致しました所業者の方からは、土砂運搬の為にトラック運搬の奉仕、村民の方はバラス揚げ、側溝さらい、路面改善と心より奉仕して戴き多大の成果を得ました事を衷心より厚く御礼申し上げます。

御承知の如く、自動車は大変化して積載量を増し、単車、自転車等は非常に普及を見て交通量が極度に増えましたもの、それに比較して良くないのが、現在の道路でむしろ多量の交通往來の為に年々悪化する現情にあります。

県としまして、又村と致しまして、年々意を用いてその改善修に努力を致して居ります。昨年の如きは村内各交通業の一日トラック奉仕と云う最大の犠牲に依る異例の協力を又県有トラックの他比較して数多い配車、中学生のバラス揚げ等の多大な協力を得ました、その成果は一朝にして道路は非常によくなる

云う程には参りません。正にローマは一日にして成らずと云いますが一朝夕にして道路の改善修は成るものでは御座居ません。産業の発展は総べて道路の良否に依つて左右されますと云いますのは村の発展も道路の良否、その整備如何に依つて大きく左右されると思ひます。

先日朝日紙上に不破郡の青島婦人会の有志に依る道路愛護作業が立派な実を結び交通安全協会より表彰

苗木藩主偉徳顕彰会發起による旧苗木藩主遠山家の墓前建設除幕式及び慰霊祭が、去る十月三日中津川市苗木町城山の中腹にある遠山家の墓地に於て行われ、この日、当主遠山建彦氏夫妻並びに御一族八名の方々が、交代、橋兩名の代議士、竹村中津川市長、館崎県議、長瀬福岡村長、外関保町村長に立派な御屋敷があり、藩主偉徳顕彰会、苗木町苗木地元の町民が多数参列の下に秋晴れの好天で、掃き清められた遠山家代々の墓前の跡へは行かれませんでした。丁度遠山邸にあつた古図による城の展開図によつて、往昔の城の模様の説

を受けたとか載つて居ましたが、道路の良否はすべて皆様の御気持如何に依つて大きく変化するものと考えられます。

県道は県がやるべきだ、村道は村が、林道は森林組合がと云うお気持ちにならないうで、総べての道路は私達の道路だと云うお気持ちで、協力下さいますよう伏してお願い申し上げます。

取獲期を目前に控えて多忙な一日を心よく道路愛護の為に奉仕して下さいました事を重ねて厚く御礼申し上げます。

苗木藩主偉徳顕彰会發起による旧苗木藩主遠山家の墓前建設除幕式及び慰霊祭が、去る十月三日中津川市苗木町城山の中腹にある遠山家の墓地に於て行われ、この日、当主遠山建彦氏夫妻並びに御一族八名の方々が、交代、橋兩名の代議士、竹村中津川市長、館崎県議、長瀬福岡村長、外関保町村長に立派な御屋敷があり、藩主偉徳顕彰会、苗木町苗木地元の町民が多数参列の下に秋晴れの好天で、掃き清められた遠山家代々の墓前の跡へは行かれませんでした。丁度遠山邸にあつた古図による城の展開図によつて、往昔の城の模様の説

「豆の言葉」

「豆のもとに火をたけ」といふ言葉は、昔から私達この村に言い伝えられてきた言葉であり、古くからこの植物を育てて来た農民としての鋭い観察と、その観察による科学的な裏付けとを汲み取るものであります。豆という植物は、非常に大陽の光を好み、新鮮なる空気を好むものであります。この事は大豆の作柄において、雨の多い年よりもむしろ日照りの年のほうが收穫が多いのであります。

皆さんの家の周囲の豆ばたけを思い浮べて下さい。うねは一尺五、六寸、株間は一尺二、三寸、しかも多い時には二本から三本も一節にまき付けてあるので、このような密植栽培を行つたならば、葉と葉が重なり合つて、いわゆる出来過ぎ現象の為に充分な肥料さえほどこす事が出来ず、せつなくの豆の花も五割以上も無駄花に終つてしまつてあります。

私はこれを思い切つてうねは三尺、株間一尺五寸しかも一本立立という粗植栽培を行つてみたのであります。その結果、ふりそそぐ陽の光と、うねの間を良く通る風と、ほどこした肥料に恵まれた豆は、期待通り

「豆の言葉」

「豆のもとに火をたけ」といふ言葉は、昔から私達この村に言い伝えられてきた言葉であり、古くからこの植物を育てて来た農民としての鋭い観察と、その観察による科学的な裏付けとを汲み取るものであります。豆という植物は、非常に大陽の光を好み、新鮮なる空気を好むものであります。この事は大豆の作柄において、雨の多い年よりもむしろ日照りの年のほうが收穫が多いのであります。

皆さんの家の周囲の豆ばたけを思い浮べて下さい。うねは一尺五、六寸、株間は一尺二、三寸、しかも多い時には二本から三本も一節にまき付けてあるので、このような密植栽培を行つたならば、葉と葉が重なり合つて、いわゆる出来過ぎ現象の為に充分な肥料さえほどこす事が出来ず、せつなくの豆の花も五割以上も無駄花に終つてしまつてあります。

私はこれを思い切つてうねは三尺、株間一尺五寸しかも一本立立という粗植栽培を行つてみたのであります。その結果、ふりそそぐ陽の光と、うねの間を良く通る風と、ほどこした肥料に恵まれた豆は、期待通り

「豆の言葉」

「豆のもとに火をたけ」といふ言葉は、昔から私達この村に言い伝えられてきた言葉であり、古くからこの植物を育てて来た農民としての鋭い観察と、その観察による科学的な裏付けとを汲み取るものであります。豆という植物は、非常に大陽の光を好み、新鮮なる空気を好むものであります。この事は大豆の作柄において、雨の多い年よりもむしろ日照りの年のほうが收穫が多いのであります。

皆さんの家の周囲の豆ばたけを思い浮べて下さい。うねは一尺五、六寸、株間は一尺二、三寸、しかも多い時には二本から三本も一節にまき付けてあるので、このような密植栽培を行つたならば、葉と葉が重なり合つて、いわゆる出来過ぎ現象の為に充分な肥料さえほどこす事が出来ず、せつなくの豆の花も五割以上も無駄花に終つてしまつてあります。

私はこれを思い切つてうねは三尺、株間一尺五寸しかも一本立立という粗植栽培を行つてみたのであります。その結果、ふりそそぐ陽の光と、うねの間を良く通る風と、ほどこした肥料に恵まれた豆は、期待通り

「豆の言葉」

「豆のもとに火をたけ」といふ言葉は、昔から私達この村に言い伝えられてきた言葉であり、古くからこの植物を育てて来た農民としての鋭い観察と、その観察による科学的な裏付けとを汲み取るものであります。豆という植物は、非常に大陽の光を好み、新鮮なる空気を好むものであります。この事は大豆の作柄において、雨の多い年よりもむしろ日照りの年のほうが收穫が多いのであります。

皆さんの家の周囲の豆ばたけを思い浮べて下さい。うねは一尺五、六寸、株間は一尺二、三寸、しかも多い時には二本から三本も一節にまき付けてあるので、このような密植栽培を行つたならば、葉と葉が重なり合つて、いわゆる出来過ぎ現象の為に充分な肥料さえほどこす事が出来ず、せつなくの豆の花も五割以上も無駄花に終つてしまつてあります。

私はこれを思い切つてうねは三尺、株間一尺五寸しかも一本立立という粗植栽培を行つてみたのであります。その結果、ふりそそぐ陽の光と、うねの間を良く通る風と、ほどこした肥料に恵まれた豆は、期待通り

「豆の言葉」

「豆のもとに火をたけ」といふ言葉は、昔から私達この村に言い伝えられてきた言葉であり、古くからこの植物を育てて来た農民としての鋭い観察と、その観察による科学的な裏付けとを汲み取るものであります。豆という植物は、非常に大陽の光を好み、新鮮なる空気を好むものであります。この事は大豆の作柄において、雨の多い年よりもむしろ日照りの年のほうが收穫が多いのであります。

皆さんの家の周囲の豆ばたけを思い浮べて下さい。うねは一尺五、六寸、株間は一尺二、三寸、しかも多い時には二本から三本も一節にまき付けてあるので、このような密植栽培を行つたならば、葉と葉が重なり合つて、いわゆる出来過ぎ現象の為に充分な肥料さえほどこす事が出来ず、せつなくの豆の花も五割以上も無駄花に終つてしまつてあります。

私はこれを思い切つてうねは三尺、株間一尺五寸しかも一本立立という粗植栽培を行つてみたのであります。その結果、ふりそそぐ陽の光と、うねの間を良く通る風と、ほどこした肥料に恵まれた豆は、期待通り

「豆の言葉」

「豆のもとに火をたけ」といふ言葉は、昔から私達この村に言い伝えられてきた言葉であり、古くからこの植物を育てて来た農民としての鋭い観察と、その観察による科学的な裏付けとを汲み取るものであります。豆という植物は、非常に大陽の光を好み、新鮮なる空気を好むものであります。この事は大豆の作柄において、雨の多い年よりもむしろ日照りの年のほうが收穫が多いのであります。

皆さんの家の周囲の豆ばたけを思い浮べて下さい。うねは一尺五、六寸、株間は一尺二、三寸、しかも多い時には二本から三本も一節にまき付けてあるので、このような密植栽培を行つたならば、葉と葉が重なり合つて、いわゆる出来過ぎ現象の為に充分な肥料さえほどこす事が出来ず、せつなくの豆の花も五割以上も無駄花に終つてしまつてあります。

私はこれを思い切つてうねは三尺、株間一尺五寸しかも一本立立という粗植栽培を行つてみたのであります。その結果、ふりそそぐ陽の光と、うねの間を良く通る風と、ほどこした肥料に恵まれた豆は、期待通り

「豆の言葉」

「豆のもとに火をたけ」といふ言葉は、昔から私達この村に言い伝えられてきた言葉であり、古くからこの植物を育てて来た農民としての鋭い観察と、その観察による科学的な裏付けとを汲み取るものであります。豆という植物は、非常に大陽の光を好み、新鮮なる空気を好むものであります。この事は大豆の作柄において、雨の多い年よりもむしろ日照りの年のほうが收穫が多いのであります。

皆さんの家の周囲の豆ばたけを思い浮べて下さい。うねは一尺五、六寸、株間は一尺二、三寸、しかも多い時には二本から三本も一節にまき付けてあるので、このような密植栽培を行つたならば、葉と葉が重なり合つて、いわゆる出来過ぎ現象の為に充分な肥料さえほどこす事が出来ず、せつなくの豆の花も五割以上も無駄花に終つてしまつてあります。

私はこれを思い切つてうねは三尺、株間一尺五寸しかも一本立立という粗植栽培を行つてみたのであります。その結果、ふりそそぐ陽の光と、うねの間を良く通る風と、ほどこした肥料に恵まれた豆は、期待通り